

NGO 相談員出張サービス実施報告書

1. 企画名：講演会 中高生向け国際協力講座「ユースプログラム」
2. 実施者：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
3. 日時：2016年8月4日（木）10:00-16:00
4. 場所：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン事務所（東京都中野区本町）
5. 参加者：中学生、高校生合計 25 名
6. 実施報告：

NGO 相談員として、中高生を対象に開発途上国の様々な問題をテーマに、途上国の子どもたちの置かれている現状について理解を深めてもらった。具体的には、まずレクチャーによって開発途上国における保健・栄養課題についての現状や子どもの置かれている状況、NGO 活動について紹介した。引き続いて「世界がもし 100 人の村だったら」のワークショップや「富の分配（ビスケットを使った不平等の表現）」、途上国で使用されている道具などで疑似体験をすることによって、参加者自身が主体的に考え理解を深める機会とした。

また、ポスターやチラシを準備した NGO 相談員のコーナーを設け、昼食時や休憩時間、イベントの前後などに国際協力や NGO 活動などについての質問などに対応した。中学生から文化祭で国際協力について発表するための資料がほしいとの相談や、将来国際協力の分野に就職を希望する高校生から、大学ではどのような学部で勉強したか等について質問が寄せられた。

7. 所感：

保健・栄養に関心を寄せる中高生が多く、25 名の申込みに対して 100%の出席率となった。また、これまでの中高生向け国際協力講座ユースプログラムから継続参加の中高生も多く嬉しく思った。学んだことを文化祭で伝えるという中学生もおり、今後も関心を持って個人や学校で国際協力に参加していく展開につながることを期待したい。

8. 別添（写真）



NGO 相談員について紹介。「世界がもし 100 人の村だったら」。アフリカの生活道具で体験。